事業名	妊産婦・子育て世帯等の居場所事業 区民提案

セールスポイント	・国籍や文化、ジェンダーに関係なく、妊婦や子育て世帯が、安心して子育てを楽しむことができる居場所を提供する ・妊娠中から乳幼児を子育て中の家庭が、母国語での交流、相談、支え合いができる場を創出する

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

・令和8年1月1日付の本区における外国人人口は、38,584人で人口全体の13%に上る。

・日本語や日本の制度に不慣れな、日本語を母語としない児童や保護者は、必要な情報にアクセスすることが困難で、孤立しがちである。

・多文化共生が進む一方で、接し方が分からないという声も多く、多様性を尊重した対話の機会や学びの場が不足している。

・豊島区では、区で実現してほしい事業の提案を、区民の皆さまから募集する「区民による事業提案制度」を実施しており、令和7年度区民提案事業で採択された、「多様性への理解と意識変容に向けた子育て世帯の居場所づくり」「食やアートを通じた多文化共生イベントの実施」を本事業で実施する。

2. 目的

・ジェンダーや多文化への理解を深め、広い視野で子どもを育てる力を育める環境を整備し、様々な文化への理解を促進するため。

3. 内容

・妊娠中から乳幼児を子育て中の家庭を対象に、池袋保健所仮庁舎跡地（東池袋4－42－16）を活用して以下の事業を実施する。

・外国人を含めた子育て家庭の居場所・相談・ピアサポート（仲間同士の支え合い）を一体的に行う「妊産婦・子育て世帯等の居場所」を設置する。

・無意識な偏見や他者との違いを理解するための講座や、食や文化を通じた多文化交流イベントを開催する。

・事業実施にあたっては、多文化に精通し、区内で多言語による妊娠中からの相談、支援の実績がある、民間団体等に委託する。

4. 今後のスケジュール

・令和8年4月　　委託契約

・令和8年5月～6月　　妊産婦・子育て世帯等の居場所事業開設準備

・令和8年　7月頃　　事業開始予定

事　業　費	500万円	うち新拡分事業費	500万円